

Vol. 49
March
2025

JDS Network News

発行元：一般財団法人日本国際協力センター(JICE)



表紙：ウクライナの地方の風景

Topics

活躍する帰国留学生（ベトナム）

- ◆ 2024年度修了前研修・行政官交流会を実施しました
- ◆ 警視庁による交通安全講習の実施
- ◆ ほっとひと息：タジキスタン

JDS The Project for
Human Resource Development
Scholarship



JDS Network Newsでは、活躍する帰国留学生を紹介しています。
今回はベトナムで活躍する帰国留学生をご紹介します。

JDS
×
Alumni

活躍する帰国留学生(ベトナム)



Mr. Tran Duy Dong(チャン・ズィ・ドン氏)

一橋大学 国際企業戦略研究科、2006年修了、ヴィンフック省人民委員会委員長

2024年7月、ベトナムの帰国留学生Mr. Tran Duy Dong(チャン・ズィ・ドン氏)がヴィンフック省人民委員会委員長に任命されました。同氏はJDSベトナムの4期生として2004年に来日し、2006年に一橋大学国際企業戦略研究科の修士課程を修了しました。

ドン氏は帰国後、2014年に計画投資省経済特区管理局局長に任命され、その4年後の2018年に地方経済局局長に任命されました。更に、2020年10月には首相より計画投資省副大臣に任命されました。



委員長選出を祝福されるチャン・ズィ・ドン氏(右) 出典:[ベトナムネット](#)

また、2024年7月には、第18期(2021-2026期)ヴィンフック省人民評議会第17回会議にて、ヴィンフック省人民委員会委員長に選出されました。

ドン氏は、JDS留学時に「貿易自由化による家計福祉への影響」をテーマに研究を行いました。同氏にJDS留学の印象についてお伺いしたところ、「JDSでは、多くの知識を得ることができて大変感謝している」との言及がありました。

2017年に計画投資省工業地帯管理局局長として勤務していた際は、多くの日本企業と協働し、日本企業のベトナムへの投資促進を行いました。また、日越の前首相が立ち上げたハイフォン市とバーリア＝ブンタウ省に建設される予定の日本企業向け工業団地の案件にも携わる等、ベトナムと日本との間の架け橋となって活躍しました。

これからも、ドン氏がベトナムの発展だけでなく日本との間の二国間関係の強化にさらに貢献することが期待されています。

2024年度修了前研修・行政官交流会を実施しました

2025年2月26日(火)～28日(木)の3日間にわたって、2024年度修了前研修・行政官交流会が行われました。本研修・交流会は、JDS留学生に対して開発課題の解決に資するリーダーとしての意識付けやJDS留学生同士および日本の行政官との長期的関係構築を目的としています。

修了前研修・行政官交流会には、JDS留学生に加え、日本の中央省庁職員、JICA関係者等を含む約300名が参加しました。

今年は新たな試みとして、テーマ別の交流会や外務省職員との国別交流会を行いました。テーマ別交流会では、JDS留学生の研究分野等に基づいた5つのテーマに沿ってJDS留学生がプレゼンテーションを行い、日本の省庁の職員や他のJDS留学生らとの間で意見交換を行いました。外務省職員との国別交流会では、各国の開発上の課題や日本のグッドプラクティス等の共有を行いました。



行政官交流会で交流する参加者たち



リーダーシップ研修の様子

更に、谷口智彦氏(元内閣官房参与、現筑波大学大学院特命教授)による特別講義や斎藤万里子氏(特定非営利活動法人Gender Action Platform理事)によるジェンダー研修、グロービス経営大学院の若杉忠弘氏によるリーダーシップ研修、帰国後を見据えた同窓会活動のグループワーク等を通して、JDS留学生が学びと交流を深めました。

警視庁による交通安全講習の実施

2025年2月18日、警視庁より講師を招き、JDS留学生を対象とした交通安全講習(対面及びオンラインで参加)を行いました。当講習では、講師より、日本の道路における歩行の際のルール、自転車に乗る際のルール、交通ルールについての説明がありました。

JICE本部内の会場では首都近郊の大学へ通う10名のJDS留学生が参加し、講義の前に日本における交通安全に関するグループディスカッションを行うとともに、他留学生はオンラインで講義に参加しました。JDS留学生の多くが通学や生活にて自転車を利用しているため、講義の後には自転車に関する質問が多数寄せられました。



警視庁の講師とJDS留学生

また、JICEの会場で講義に参加したバングラデシュ警察に所属する留学生にとっては、日本の警察職員と交流する良い機会となりました。



タジキスタンは中央アジアに位置し、ソビエト連邦崩壊後の1991年に独立した国です。国土の半分は標高3000mを超える山岳地帯で、標高5000~7000m級の山々が連なるパミール高原を有する山岳国家です。今回は雄大な自然あふれるタジキスタンの料理をご紹介します。



【クルチャ】

日本人にとっての主食が白米であるように、タジキスタンの人々の主食はこの「クルチャ」と呼ばれるパンです。形やデザインは様々で、市場やスーパーで購入することができます。クルチャの原料は「小麦粉」、「牛乳」、「水」とシンプルなので、基本的にはどんな食べ物とも相性が良く、スープや肉料理、米と一緒に食べることもあります。

【オシュ(プロフ)】

オシュ(プロフ)は中央アジアを代表する料理ですが、タジキスタンでも定番の食事です。お客様をもてなすときには、必ずオシュが用意されます。オシュは米に野菜と肉を入れて炊き、キュウリとトマトのサラダと一緒に食べるのが一般的な食べ方です。タジキスタンのオシュには、オレンジ色のニンジンが沢山入っている点が美味しさの秘訣です。



【ラグマン】

ラグマンも、中央アジアを代表する料理で、日本のうどんに似ているので、日本人に好まれるタジキスタン料理の一つです。麺は小麦粉を使用した手打ち麺で、スープは羊肉もしくは牛肉とトマトをベースに野菜が沢山入っています。店毎に麺とスープの味が異なるので、食べ比べを楽しむ現地の日本人も多いようです。

JDS 3つの特徴

1

行政官限定事業

※一部例外がございます

2

6,345名 23カ国の実績

※事業終了国の人数も含む ※2024年度までの人数

3

大臣・局長級を輩出

対応国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が日本で修士号または博士号を取得しています

出身省庁…財務・経済、法務、行政、環境、インフラ、教育等

<JDS実施国 (JICE)> ※受入開始年順

ウズベキスタン、ラオス、カンボジア、ベトナム、モンゴル、
バングラデシュ、ミャンマー、フィリピン、キルギス、
タジキスタン、スリランカ、東ティモール、パキスタン、ブータン、
モルディブ、ケニア、セネガル、ウクライナ

※中国は2012年、インドネシアは2006年に事業終了しました。

日本で専門知識を身に付け帰国した留学生は、
日本との政策対話に携わり二国間強化に寄与する等、
様々な場面で活躍しています。

人材育成奨学計画 (JDS) は無償資金協力による
JICA留学生受入支援事業です。

編集後記

JDS Network News (JNN) をお読みいただき、ありがとうございます。

最近は通信技術が進み、オンラインで面談ができるようになり、地方に住む帰国留学生には、地方まで出向くことなく気軽にオンラインで面談をすることが可能となりました。更に、世界中の帰国留学生とオンラインで面談ができるようになり、便利な世の中となりました。

他方、対面での面談では、その場の雰囲気や温度感等、オンラインの面談よりも具体的に濃い情報が得られるような気がします。直接見る、目の前の懐かしい笑顔も嬉しいものです。

各国でJDS帰国留学生が増えている中でも多忙な帰国留学生たちと直接会える機会は少ないので、直接会えるチャンスがあれば、できるだけ親交を温める機会として大切にしたいと思います。

JDS事業に関するご質問がございましたら、お気軽にメールで弊センターまでお問合せください。また、本誌へのご意見・ご感想もお待ちしております。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本国際協力センター (JICE)
留学生事業第一部留学生事業広報担当
E-MAIL: jds.pr@jice.org